

【新着参考図書】

『[最新企業博物館事典](#)』（069/ニ千）

古田ゆかり／監修 日外アソシエーツ 2026.1 587p 13,800円＋税

全国の企業や業界団体が設立し一般公開している博物館・資料館・記念館 273 施設の事業概要などを掲載した事典。沿革・概要、予約の有無、出版物・グッズ、バリアフリー対応についての記載のほか、館のイチオシの情報も掲載されている。巻末には、各館のジャンルから引ける「種別索引」がある。

『[歴史と文化の町並み事典](#)』（521.8/7ソ）

文化庁／編集 中央公論美術出版 2026.1 338p 5,000円＋税

城下町、宿場町、門前町など国が選定した「重要伝統的建造物群保存地区」のカラー写真や地図を交えながらその概要や見どころをまとめた事典。43道府県、106市町村、129地区を収録。

『[オックスフォード世界神話百科 上・下](#)』 デーヴィッド・リーミング／著 柘風舎 2026.1
(164/リ1/1, 164/リ1/2)

『[西洋画家図鑑 決定版](#)』 池上英洋／著 創元社 2026.2 (723.3/竹)

『[短編小説 7万作品名目録 2019-2025](#)』 日外アソシエーツ／編集・発行 2026.2 (903.1/ニ千)

【新着電子書籍】

『固有種が教えてくれること 北海道・本州・四国・九州にすむ固有種』

今泉忠明／監修 金の星社 2020.2 40p 2,800円＋税

固有種が多く生まれる環境や、日本の地形と固有種の関係、固有種からわかる生態系や自然環境、絶滅危惧種、固有種を守る環境保護の取り組みなどを解説。他に南西諸島・小笠原諸島にすむ固有種についてのコンテンツなどもあり。第22回学校図書館出版賞を受賞。

※この本は電子書籍（KinoDen）で閲覧できます。

県立図書館の My ライブラリーID・パスワードをお持ちの方は[こちら](#)からログインしてください。

県立学校や市町村図書館の取寄せIDをお持ちの方は[こちら](#)からログインしてください。

【レファレンス事例】

Q. 徳島県内で飾られていた端午の節句の猿幟について、その歴史やいわれ、縁起などについて知りたい。

A. 1. 『[徳島地域文化研究 第2号](#)』 高橋晋一／編 徳島地域文化研究会 2004

p168-169「那賀川町の猿幟」の項に端午の節句は中国の行事に由来し、厄払いの意味があったとあり、猿幟は男子の節供の風習で、次男以下に用意して飾る傾向にあったと書かれている。

2. 『[徳島地域文化研究 第3号](#)』 高橋晋一／編 徳島地域文化研究会 2005

p189「猿幟について（続報）」に上記1に書かれた那賀川町以外の猿幟の風習についての記述がある。

3. 『[郷土玩具辞典](#)』 斎藤良輔／編 東京堂出版 1997.9

p268「幟猿」の項で徳島に限定したものではないが、その起源について解説がある。

4. 『[阿波の年中行事と習俗の研究](#)』 林鼓浪／その他 五読会 1969

p96「阿波國風俗問状答」の五月の部分に「猿のぼり」の記載あり。